

「誰のために、何を伝えるのか」が立ち上がった瞬間

福島県新地町立尚英中学校 八木一真

昨年度、飛鳥中学校とのオンライン交流授業を通して、尚英中学校の3年生たちは、「離れた場所に住む、同じ学年の仲間」の存在と出会いました。画面越しではありましたが、その出会いは、生徒たちの学びの質を大きく変える転機となりました。卒業を迎えた尚英中の生徒たちは、交流を振り返り、次のような言葉を残しています。

【3年編 - 2024】

飛鳥中のみなさん！！ネット対戦 ありがとうございました！！

飛鳥中と対戦することで、「飛鳥中に負けたくなり、負けたい。」

という気持ちが高まり、私の英語力が伸びている一つの理由になって

います。受験勉強で忙しいと思います。他の学校より「英語は得意だ」

という気持ちで頑張っていましょう！！私も頑張ります！！fight！！

私達とのオンラインのためにたくさんの準備をしてくださってありがとうございました。飛鳥中と交流して、レベルの高さや発想力にとっても驚きました。また一緒に話すことを楽しみにしています。

3回にわたるオンライン授業ほんとうに楽しかった！！東京の中学生と話す機会なんてめったにないから、すごく貴重な時間になった。話してみただけで、たくさんの気づきや学んだことがあってとても良い経験になった。本当にありがとう！！受験お互いがんばらね～！！

今回も私達のためにたくさんの準備をしてくれてありがとうございました。飛鳥中のみなさんがいてくれたからこそ私達もよりレベルを上げることができたと思います。受験勉強も一緒に頑張らましょう！応援しています！！

これらのメッセージを丁寧に読み返していくと、ある共通点が浮かび上がってきます。

それは、「どんな活動を行ったか」よりも、「誰のために、何を伝えようとしたのか」という視点が、学びの中心になっていたことです。オンラインで誰とでもつながることができる時代だからこそ、教師が意識すべきなのは、生徒たちの学びを教室の中だけに閉じ込めないことです。

「向こう側に、確かに誰かがいる。」その実感こそが、生徒を本気にさせ、学びを一段深い次元へと引き上げていくのだと痛感しました。

【1年編 -2025】「緊張」から「仲間意識」へ。二度の交流が生んだ変化

今年度、尚英中学校と飛鳥中学校の1年生は、「自己紹介スピーチ」「私の町の魅力を紹介する」という二つのテーマで、オンライン交流授業を行いました。

わずか二度の交流でしたが、その前後で、生徒たちの意識には明確な変化が見られました。ここでは、3名の生徒のコメントの変化に注目してください。

(生徒A)

本日は本当にありがとうございました。この経験、交流のおかげで反省的や改善的を見つけたことができました。

これからいっしょに成長と経験を重ねて英語力をどんどん上げていきたいと思います。いつも私たちとオンライン授業をしてくれて本当にありがとうございます。あなたの町のいいところが分かりました。

(生徒B)

今回は少し緊張していたので上手く話すことが出来なかったが次は沢山話して交流を深めていきたいです。
また、今回は日本語でしゃべることが出来なかったの下次は沢山話したいです。

交回もオンライン交流ありがとうございました。

こうして交流することで東京のことを知れたり、相手の話しを聞く力や自分
が相手に伝える力か付き とはいへ経験になったと思っております。

お、もともと、人と交流するところが苦手だったけれど、少しづつなれてきました。

また次の交流もよろしく願っています。

(生徒C)

今回の交流すごく楽しかったです。

次回の交流も楽しみにしています。

オンライン交流をしていただきありがとうございました。

飛鳥中との交流のおかげで、英語が少しずつ得意になってきた
気がします。これからもっと英語がうまくなりたいと思います！

また、交流できるのがすごく楽しみです。

一回目は、多くの生徒が緊張し、「とにかく自分のことを伝える」ことで精一杯でした。
しかし、二回目の交流では様相が変わります。そこには、自分の成長を実感しながら、相手を「同じ目標に向かって高め合うパートナー」として捉える姿勢がはっきりと表れていました。

◆「登るべき山」を共有すること

交流授業において、私たちが常に意識していることがあります。それは、「登るべき山」を、
生徒と共有することです。文法項目を指定し、答えがほぼ決まっている活動では、パートナー
はどうしても「練習相手」にとどまってしまう。

一方で、「○○に△△について興味をもってもらうために、□□を大切にしながらプレゼンテ
ーションをする」というように、目的と相手を明確にした課題を設定すると、生徒たちの意識
は大きく変わります。

「どうすれば伝わるか」「何を削り、何を残すか」

発表内容へのこだわりが生まれ、自然と相手意識が立ち上がってくるのです。その結果、日
常の授業においても、ゴール（オンライン交流授業）を見据えながら、協働的な学びが自然に
生まれるようになります。

特に二回目の交流では、生徒たちが階層式マッピングを駆使しながら、「新地町の魅力を、どうすればより分かりやすく伝えられるか」を本気で考えている姿が印象的でした。

前回の交流会よりも、より長い文が言え、さらに「原稿を完全に覚える」ではなくマッピングを見ながらの即興文を言えるようになってきたことです。前回でも「マッピングを見ながら」は同じでしたが、今回は「マッピングと「即興」」だったので、そう考えると前よりも成長してきたかと思います。

前回の交流授業より自分がマッピングを見ながら英語がスラスラ出てきて本当に話して、びっくりしたし練習ががんばってよかったと思った。それにマッピングを見ても英語が出てくるようになったときの対応力もついた！

自分は前回の交流授業で、話したかった言葉がでず、止まってしまったときがあったけど、今回は、マンガラート、マッピングを見てすぐに話すことが出来るようになった。他にも、前回の交流では、あまり得意ではなかった質問が出来るようになった！

◆生徒は、条件がそろえば「自走」する

「伝えたい相手がいる」「伝えたい内容がある」

この二つがそろったとき、生徒たちは、教師が思っている以上に自走し始めます。だからこそ、その前段階としてスキルを徹底的に鍛えることが欠かせません。まとまりのある文を作る練習は、相手意識をもって、より分かりやすく説明する力へと直結します。

さらに、思考ツールを自在に使えるようになったとき、生徒たちは *Three Sentences* のその先へと進んでいきます。私たちに求められているのは、生徒を「本気」にするきっかけを用意すること、そして、その土台となるスキル指導を、妥協せずに積み上げていくことなのだ、改めて考えさせられました。

◆成果物としての「新地町大辞典」

以下は、第2回オンライン交流授業後に、尚英中の生徒たちが、飛鳥中学校のパートナーに向けて作成した「新地町大辞典」です。

All about Shinchi town

Dear []

Nature

Mt. Karo

Mt. Karo is very popular, especially in November. There are three reasons.

1st It is easy to climb Mt. Karo. Why? Because Mt. Karo is four hundred and thirty meters high.

2nd In autumn, the leaves turn red and yellow. So we can see wonderful view in autumn.

3rd We can eat "新地". Where can we eat "新地"? We can eat "新地" at "新地". It is at the foot of Mt. Karo.

My family and I climbed Mt. Karo on November twenty-third. From the top, we can view our town. It was beautiful.

Park

釣師防災緑地 park

1st There is a "釣り防災緑地" in the park. Do you know "釣り防災緑地"? We can play mountain bike, BMX, skate board, there. "釣り防災緑地" is the largest "釣り防災緑地" in Japan.

Festival

釣師海風 festivals and markets

It is held in 釣師海風 park in Aug, Sep, and October.

We can play "釣り" here. Do you know it? It is like "釣り". It is difficult to play "釣り" without help.

Especially, I recommend 釣師海風 summer fes. It is very popular. I think there are two reasons.

1st We can see ensemble, BMX performance show, and dance performance show on the stage. They are great.

2nd There are many stalls at the festivals. I recommend "釣り防災緑地". We can buy "釣り防災緑地" and "釣り防災緑地" at the stall. They are very delicious.

In addition, I enjoyed "釣り". They were very delicious. I recommend eating it after climbing Mt. Karo.

All about Shinch Town delicious food

Shinch Town is famous for Seafoods and vegetables.



flatfish

Flat fish is always fresh so, it's very delicious. In winter, it's juicy and more delicious.

Many famous cooks cook in our town. Leek is especially delicious in spring.



Leek



fig

Fig is very sweet. We can buy it at "ABC".

Also, we can eat local food in our school lunch!!!

Festival 「遊楽しんち」

We can enjoy many stage shows, especially, Yosakoi dance is exciting.



Stage Shows



fireworks

Our town is near a beach, so we can see beautiful fireworks. It's moved.

We can eat delicious local food in food stalls. For example, grilled sea food is delicious.



Food Stalls



Shinch Town

Thank you for the online talk. It was very fun. I want to go to your world some day!

All about Shindhi Town

Dear "Shindhi Town" is a summer festival near a beach. We can eat summer food there. Especially, I recommend grilled seafood to you. Do you like seafood? They are very juicy!!



At night,

we can watch fireworks, too. We can see fireworks near the sea for free. Also, we can see fireworks on the water. They are very beautiful!!



HOTEL GRADO

おつるしの湯 "つるしの湯" is a natural hot spring! We can relax there.



I recommend open-air bath to you.

We can watch beautiful stars over the sky! Because there are not lamps around "つるしの湯".

お食事処 悠



"お食事処 悠" is a local restaurant. Seafood dishes are very fresh there! So, I recommend them.

Thank you for reading!!

教師が指示をした「課題」を提出するのではなく、「相手に届けるための一冊」として仕上げられた相手目線の「成果物」には、英語だけでなく、生徒たちの心の成長の軌跡も刻まれているように思います。